

## よくある御質問（随時技能検定試験について）

Q 1. 試験準備のための参考書や問題集はありませんか。

A 1. 過去に実施されました試験問題については、コピーサービス（有料）を行っておりますので当協会ホームページを御覧ください。

Q 2. 試験会場はどこでもよいのですか。

A 2. 所在地が愛知県内で、受検を希望される試験の実技試験実施要領等で定める基準を満たしていることが必要です。この条件を満たしていれば受入企業以外の場所でも可能です。

Q 3. 試験日の予約はどのようにするのですか。

A 3. 監理団体（事業所）が、外国人技能実習機構（以下、機構という。）へ受検希望情報を申請された後、機構によりその情報が承認されますと、その情報を当協会が閲覧が可能となり、当協会から受検申請関係書類をお送りします。その書類が届き次第、当協会へ電話で試験日の空き状況を御確認いただいた上で、試験日の予約をしてください。

なお、予約の受付は、試験実施日から起算して6か月前の月初めから開始します。予約のタイミングを逸しないようご注意ください。（例：10月の試験実施分は4月から受け付けます。）

予約状況により試験日の希望が叶わない場合があります。候補日を数日用意されることをお勧めします。また、可能であれば他県での受検も御考慮ください。

Q 4. 受検申請書類はいつまでに提出するのですか。

A 4. 遅くとも、試験実施日の1か月前までに、受検手数料の振り込みが確認できる書類（振込用紙の写し等）及び下位等級の技能検定合格を確認できる書類（随時3級又は随時2級受検申請時）と共に提出してください。

Q 5. 試験材料等はどこで入手すればよいのですか。

A 5. 受入企業や監理団体等で調達していただきます。なお、一部の試験では材料を購入できる団体がありますので、当協会ホームページを御覧ください。

Q 6. 金属プレス作業の金型の予約はどうすればよいのですか。

A 6. 金型の予約は、金型の借用願を当協会へ提出していただきます。詳しくは、当協会ホームページを御覧ください。

Q 7. 試験会場及び技能検定委員は誰が手配するのですか。

A 7. いずれも受検者側（監理団体等）でお探しいただきます。検定委員の選任基準については、当協会ホームページを御覧ください。

なお、集合試験方式で実施する試験（下記※参照）については、いずれもお探しいただく必要はありません。当協会が手配します。

※ 集合試験方式で実施する試験

「機械検査作業」（基礎級、随時3級、随時2級）

「電気めっき作業」（基礎級、随時3級、随時2級）

「射出成形作業」（基礎級のみ）

- ・ 上記に加えて、名古屋高等技術専門校で行う「金属プレス作業」（基礎級、随時3級、随時2級）も集合試験方式です。

Q 8. 技能検定委員は退職者でも可能ですか。

A 8. はい、可能です。過去に受入企業で勤務されていた方（OB、OG）でも結構です。ただし、定年退職後嘱託員等で現在も受入企業で勤務されている方は選任出来ません。

Q 9. 実技試験と併せて行う学科試験は誰が担当するのですか。

A 9. 試験当日に実技試験の立ち合いで何う当協会の「技能検定指導員」が学科試験を実施します。通常、実技試験の後に学科試験を行います。

Q10. 試験開始時刻は変更できますか。

A10. 原則として午前9時30分としています。なお、やむを得ない理由がある場合には、多少の考慮ができることもありますので、当協会へ御相談ください

Q11. 試験日を変更することができますか。

A11. 一度予約された試験日は、受検者や監理団体等の都合で変更することはできません。

Q12. 試験当日、病気等で出席できない場合、受検手数料は返してもらえますか。

A12. 原則、お返しできません。

Q13. 監理団体は試験に立ち会わなければなりませんか。

A13. 立ち会わなければならないというものではありません。